

EU501

～簡易型 樹脂硬化収縮率測定装置～

省スペースでOK!

- コントローラー W130×D150×H105mm
- 測定部 W120×D165×H180mm



ついに登場、
サンプルに収縮率を測定する方法

E a s y
S i m p l e

EU501のメリットとは

だれでも簡単操作

測定はたったの
3ステップ！！

※下の収縮率算出方法をご覧ください。

お求めやすい価格

従来品 (EU201) の
半以下！！

※フルオプションタイプと比較

条件設定思いのまま

お手持ちの設備で
ご自由に設定！！



検出した数値より収縮率を算出

※表示値は測定した高さです。

変化前・変化後の厚みを測定



収縮率算出方法

“0設定” サンプル設置前



“A” サンプル設置 (硬化前)



“B” サンプル設置 (硬化後)



$(A-B)/A \times 100 =$

収縮率！

※硬化処理はお手持ちの設備にて行ってください。

硬化収縮率
測定用レー
ザ変位計

- 1) 繰り返し精度 2 μ m
- 2) 赤色半導体レーザ
655nm (可視光)
- 3) レーザ class 1 (FDA
CDRH Part1040.10)
- 4) 出力220 μ W

高性能タイプはこちら▶

EU201



UV照射・加熱・冷却など
自由に組み合わせた環境下で測定可能

連続測定により経時変化が見られる

研究・開発用途に最適

センテック 硬化収縮

検索